

### 3年2組 国語科学習指導案

1. 単元名 ビブリオバトルをしよう

2. 教材名 三年とうげ

3. 単元目標

- ・民話や昔話のおもしろさを見つけながら、進んで読書をしようとしている。
- ・ビブリオバトルの進め方に則って、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意しながら、おすすめの本を紹介することができる。
- ・場面の移り変わりに注意しながら、おじいさんの気持ちの変化を、叙述を基に読むことができる。
- ・おじいさんの気持ちの変化と出来事に着目して、あらすじを書くことができる。

4. 指導にあたって

本学級の児童は、自分の考えに自信をもって発言できる力をつける為に、朝の会の時間を使って、スピーチに取り組んできた。当初は、「はじめ・中・終わり」の3つのまとまりに分けて、発表原稿を作り、その原稿を見ながら発表してきた。徐々にスピーチに慣れ、発表原稿を見なくても発表できる児童が増えた。しかし、「思いを伝えよう」というよりは、暗記してきた内容をただ「間違わずに喋ろう」ということだけに意識が向いてしまっている。その結果、声も小さく棒読みのスピーチになってしまっている。また、児童はこれまでに「もうすぐ雨に」と「ちいちゃんのかげおくり」の2つの物語文を学習してきている。2つの学習から場面毎の中心人物の気持ちを読み取ることはできた。しかし、場面毎の読みになっており、例えば、「前の場面は～という気持ちだったけど、今は～という気持ち」というように場面を関係づけて読むことまではできていない児童が大半である。

本単元では、ビブリオバトルの活動を設定している。ビブリオバトルとは、「人を通して本を知る 本を通して人を知る」というキャッチフレーズのもと、参加者が紹介したい本のあらすじやおすすめポイントなどを1人5分間で発表し、聞き手の参加者全員でその発表に関するディスカッションを2～3分間行う。そして、「どの本が一番読みたくなかったか」という観点でチャンプ本を決める活動である。ビブリオバトルをする際に、話し手は、おすすめの本から読み取ったあらすじやおすすめポイントを伝えなければならない。そして、自分のおすすめする本を選んでもらうには、聞き手に「読んでみたい」と思わせる発表の仕方を考えなければならない。従って、ビブリオバトルを通して、物語の各場面を関係づけて読み取り、短くまとめる力や自分の思いを筋道立てて、分かりやすく相手に伝える力を育てられると考える。また、これらの力を身に付ける為に、ビブリオバトルの活動をする前には、「三年とうげ」の教材を使い、学習を積み上げていく。「三年とうげ」は、朝鮮半島に伝わる民話である。民話独特の語り口には楽しいリズムがあり、外国の雰囲気存分に表現した挿絵もあることで想像を膨らませながら読み進めることができる。また、トルトリの巧みな機転で不運を幸運へと180度転換する展開はとんち話の側面があり、おすすめするポイントとしても考えやすい教材である。文章の構成としては、起承転結が明確で、登場人物の心情の変化が捉えやすいので各場面の繋がりもみえやすい。その為、あらすじもまとめやすいものとなっているので、あらすじを捉え、短くまとめていく学習をするのにも適した教材と言える。

指導にあたっては、第一次で、ビブリオバトルが行われている動画を見せ、ビブリオバトルに対して興味をもたせる。そして、クラスで「ビブリオバトル」をしようと単元のゴールを伝え、見通しをもたせる。その後、「ビブリオバトル」では、何を伝える必要があるかを考えていく。その中で、お話を紹介するには、あらすじを伝える必要があることを確認する。第二次では、「三年とうげ」のあらすじを書いていく。あらすじには「出来事が起こる前の中心人物の気持ち」「中心人物の気持ちを変化させたであろう出来事」「出来事が起こった後の中心人物の気持ち」の3つのポイントをまとめたらよいことを伝える。(西尾市立西野町小学校『文学授業のユ

ニバーサルデザイン』2014.2.p25.東洋館出版社)そして、あらすじを書いていくために、まず中心人物の気持ちや気持ちを変化させた出来事の詳細を読み取っていく。本時では、あらすじを書く活動を設定する。まず、各場面の数枚の挿絵や前時までに学習したおじいさんの気持ちや出来事を提示する。その後、文章の流れに合うように挿絵とおじいさんの気持ち等の組み合わせを考え、並び替えをさせることで、前時までに学習した大まかな話の内容を確認させる。その際、マイナスの気持ちのところは青色で、プラスの気持ちのところは赤色で線を引きたり板書したりすることにより、具体的な気持ちが考えにくい児童にも視覚的に理解させやすくする。クラス全員がおじいさんの気持ちの変化を捉えた上で、あらすじを書かせる。あらすじを書かせる際には、まず、1人で考えさせ、書かせる。次に、数名の児童に、考えたあらすじを板書させ、どこがよくてどこを直すべきかを全体で交流する。見るべきポイントは、上述した3つのポイントとする。児童が板書したあらすじに、それらのポイントが入っていれば、青色(マイナスの気持ち)、緑色(出来事)、赤色(プラスの気持ち)の3色に分けて線を引き確認していく。その後、自分の書いたあらすじにもその3色で線を引き、再度考えさせる。そうすることで、考えを再構成し、1人であらすじを書くポイントを明確に理解できると考える。第三次では、ビブリオバトルを行う。まずは、並行読書をしてきた本のあらすじやおすすめポイント等伝えることを付箋に書き出させる。書かせた後は、話す際の構成を考え、発表の練習をさせる。ここでは、聞き手に自分の思いを伝える際に重要となる言葉の抑揚と間の取り方の2点を意識させ、練習させる。練習した後は、ビブリオバトルを行いクラスで発表チャンピオンを決める。ビブリオバトルの公式ルールからは外れるが、児童の実態を考え1分30秒の発表に1分間の質問タイムを設けることとする。また、並行読書をさせる本は、予め、あらすじが捉えやすい民話や昔話を数冊選んでおき、その中から決める為、チャンプ本を決めるのではなく、「誰の発表がその本を読みたくなりそうか」という発表チャンピオンを決めていく。その際には、なんとなくやその友だちの先入観で選ぶのではなく、評価の観点(伝え方・内容)を与え、具体的に考えさせ、評価させる。この活動を通して、次学年以降で学習する主題を捉える力の基礎をつけること、自力で文章の内容を読み取った先にある読書の楽しさ、思いを伝える楽しさに気がつけることのきっかけになってくれるように願っている。

#### 5. 指導計画(全12時間)

第一次	ビブリオバトルについて知り、学習の見通しを持つ。(1時間) 第1時 ビブリオバトルの動画を見て、ビブリオバトルについて知る。 ビブリオバトルで、話し手が伝える内容について話し合う。
第二次	「三年とうげ」を読み、あらすじを書く。(7時間) 第2時 場面を起承転結の4つに分け、どの場面が心に残ったかを交流する。 第3時 「起」の場面の内容を読み取る。 第4時 「承」から中心人物の気持ちを読み取る。 第5時 「転」「結」から中心人物の気持ちの変化と出来事を読み取る。 第6時 あらすじを書く。(本時) 第7時 自分の考えるおすすめポイントを書き、交流する。 第8時 「三年とうげ」を使ってビブリオバトルの練習をする。
第三次	ビブリオバトルをする。(4時間) 第9時 おすすめする本のあらすじやおすすめポイント等を付箋に書き出し、話す際の構成を考える。 第10時 ビブリオバトルに向けての練習をする。 第11・12時 ビブリオバトルをする。

6. 本時の学習について

(1) 本時の目標

- ・おじいさんの気持ちの変化と出来事に着目し、3つの観点を入れてあらすじを書くことができる。
- ・書いたあらすじの内容を3つの観点を基に話し合うことで、一人であらすじを書く際に気をつけるべきことをより意識できる。

(2) 本時の展開 (6 / 12時)

学習活動	主な発問と予想される児童の反応	指導上の留意点☆評価 (方法)
<p>1. 前時までの振り返りとして、挿絵の並べ替えをする。</p>	<p>○挿絵とおじいさんの気持ち・出来事の組み合わせを考えて、並べ替えましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な並べ替えをさせることで、全員が参加出来る雰囲気を作るとともに、話の全体像を振り返らせる。</li> <li>・プラスの気持ちは赤色、マイナスの気持ちは青色で板書し、視覚的に理解させる。</li> </ul>
<p>30秒 (100字以内) であらすじを伝えるには、どういうお話と書けばよいだろうか。</p>		
<p>2. あらすじを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人で</li> </ul> <p>3. あらすじを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体で</li> <li>・一人で</li> <li>・全体で</li> </ul> <p>4. 振り返りを書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トルトリのアドバイスでしあわせになったお話。</li> <li>・おじいさんがトルトリの教えでおばあさんと幸せにくらすお話。</li> <li>・おじいさんが3年とうげで転んで病気になった。そして、トルトリにアドバイスをしてもらおうお話。</li> <li>・転ぶと3年しか生きられないという言い伝えがある3年とうげでおじいさんが転んでしまい、病気になってしまった。しかし、トルトリがアドバイスをしてくれたおかげで元気を取りもどすお話。</li> </ul> <p>○友だちの意見で考えが変わったところや自分の考えがはっきりしたことを書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・△△さんが、マイナスの気持ちを書いた方がいいと言っていたから、マイナスの気持ちを書き足せた。</li> <li>・△△さんの「転ぶと3年しか生きられない」を書いた方がいいという意見になっとくした。理由は、たしかにそう書いた方が、お話を分かっている人にとってはイメージしやすいから。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3つの観点を満たしていないあらすじを取り上げることで、何が足りないかを全体で交流し、あらすじを書くポイントを共有させる。</li> <li>・全体での交流時には、マイナスの気持ち (青色) から出来事 (緑色) があってプラスの気持ち (赤色) になったことを色を変えて板書する。</li> </ul> <p>☆おじいさんの気持ちの変化と出来事に着目しながら、3つの観点を入れて、あらすじを書くことができたか。</p> <p style="text-align: right;">(発言・ノート)</p> <p>☆書いたあらすじの内容を3つの観点を基に話し合うことで、一人であらすじを書く際に気をつけるべきことをより意識できたか。(発言・ノート)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちの意見のおかげで考えが深まったということを実感させるために、友だちの意見を基に、振り返りを書かせる。</li> </ul>

